



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレター No. 169

2025 年 8 月



懐かしのロゴマーク

日本同盟基督教団 土浦めぐみ教会員 安藤華舟（善枝）

私は安藤華舟と申します。華舟と言う雅号で（本名は善枝）水墨・墨彩画を描いております。

先日、御殿場で開かれました聖句書道錬成会で石川信隆先生にお会いし、コルネリオ会の事をお聞きしました。私はびっくりして「えっ！ 私はコルネリオ会のロゴマークを書いた者です！」と申しました。石川先生もびっくり！ 本当に驚きましたが、私はあれから 50 年も経っているのに、まだあのつたないフリーハンドのロゴマークを使ってくださっている事に感激した次第です。

20 代の初め、その頃、私は深い悩みの中におり、一大決心で近くの小平教会の礼拝に参加しました。そうしましたらどうでしょう。その日に「クリスマスの劇に羊飼いの役が一人足りないのでやってくれませんか！」と言われたのです。私は驚いて「は、はい！」と返事をしてしまいました。早速練習に行きましたら、羊飼いのリーダーが今井先生でした。本当に親しく練習に励み、あつと言う間に教会に溶け込みま

した。その交わりの中で、イエス様の十字架は私の為であった事を知り、深く悔い改め、洗礼の恵みに預かることができたのです。



その頃、私は美術大学に通っていたので、今井先生は私にコルネリオ会のロゴマークを頼んで来られたのだと思います。余り深く考えもせず、軽く受けてしまった様に思いますが、今思いますに、本当に貴重な体験をさせていただいたと思います。私は教会の中で今井先生から大切な助言をいただきました。「どんな時にも神様を見上げて祈って進むように！ 人間は不完全で必ず敗れ口がでる。クリスチャンはその敗れ口に毅然として立つ者である」と。教会の中で色々問題があった時に語られた今井先生の言葉が忘れられません。

その後、私は神学校に行きました。牧師をしている主人と結婚をし、3 人子どもが与えられました。50 代の初めに癌を患い、その苦しみの中で神様はもう一度、絵を描く道を開いてくださり、今私は絵を通して神様を証しして行きたいと思っています。

私は「華のしらべ」と言うカレンダーを、いのちのことば社から頼まれて描いています。もう 20 年以上続いています。筆でみ言葉を書いていますので、聖句書道も更に力を入れていきます。よろしく願いいたします。



私の洗礼式 井上 淑牧師より受洗
介助者：今井健次先生

末期がん患者（みさよさん）に寄り添って

賛助会員 寺脇 晃

キリスト教を嫌いと言っていた末期がんの患者に寄り添った最後の 5 か月間に貴重な信仰体験をしました。その話を今日の証しとさせていただきます。それは 2024 年 8 月から 2025 年 1 月の間のできごとでした。

そのがん患者は、私の家の近く(6 キロ)に住んでいた、長崎県の佐世保市出身の 84 歳の女性みさよさんのことです。54 年前に佐世保の米軍基地に駐屯していた米人のリチャード・ジョンソンさんと結婚してアメリカに来ました。そのみさよさんが、6 年前に私の町に引越してきた時、お互いの友人だったおばあちゃんから、今度近くになるから知り合いになればいいと紹介されました。それ以来彼女から毎夏野菜がいっぱい取れたと連絡があった時にもらいに行くだけの付き合いでした。彼女がキリスト教嫌いだということは聞いていました。ただしなぜなのかは知りませんでした。彼女も私がクリスチャンだということを友人から聞いて知っていたので、お互いに親しくなろうとは思っていなかったのです。そんな中で、2024 年の 8 月初旬に彼女から電話があり、お話ししたいことと頼みたいことがあるから来て欲しいとのことでした。びっくりして飛んで行ったら、最近体調がすぐれないので病院で精密検査をして貰ったら、ステージ 4 の肺臓肝臓の末期癌で、年齢を考えると抗がん剤治療も手術もできない、余命 6 ヶ月と言われたというのです。それでいろいろ考えたら、死ぬまでにやっておかねばならないことがいっぱいあるし、彼女も私も市民権を持っていないくて永住権なので、いろいろな手続きのことで相談に乗って欲しい、また十歳近く若いアメリカ人のご主人は家族も友人も殆どいないので彼とも親しくなって欲しいとのことでした。

それからの私は彼女のためにお祈りし、できるだけ寄り添って協力しようと週に一度は訪ね、彼女の終活を手伝うことにしました。彼女はまだ歩けるし、頭もしっかりしていて、読み書きも問題なくできたので、私は、みさよさんの寿命は医者が決めるので

はないので、まだ 2, 3 年は大丈夫ですよ、そう思っ

て頑張りましたと励ましていました。彼女が神仏を信じないと聞いていたので、私は神様やイエス様のことは全く触れないようにしようと思いました。でもこのようなチャンスが私に与えられた、ということはやはり神様は私に彼女が神様と出逢うことを求めておられるに違いないとも思い、私は何をしたらよいのですか、と主に祈っていました。それで聖書から示されたのは、マルコ 12 章 31 節の「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」というみことばでした。彼女がなんとか神さまと出逢うことができるように毎日祈りつつ、私はただ彼女を、自分を愛するように愛そう、それに徹しようと思い、実行することにしました。

それからは、彼女が聞いて欲しいことを聞いてあげ、して欲しいことをしてあげ、欲しいものがあれば買って行き、ケーキを焼いたら持って行く、おいしいひじきの煮物ができたら持って行く、日本に一時帰国したときは買って来て欲しいと頼まれた魚のみりん干しを買って来る、というような感じで 3 か月程付き合っているうちに、彼女がどのようにしてアメリカに来ることになったのかを話してくれました。佐世保の高校を卒業してから、佐世保は大きな港があって漁業が盛んだったので、船の部品を扱う商売を始め、会社を起こし、経営者として一生懸命働いて成功し、大きな富を築いた。30 歳になってそろそろ結婚しなければと思ったが、日本人の男はみな頼りなくて魅力がないと感じていた。そんな時米海軍の基地にいたリチャードと知り合ってすぐに親しくなり結婚した。アメリカに一緒に来ることになったので、会社は姉妹にすべて譲って 54 年前にアメリカにやってきた。それから女の子を授かったがまだ小さい時に病気で亡くなったのはとても悲しかった。その後は、子どもはできず、洋裁とデザインの仕事に熱中し、お金を貯めることに集中した。お金を使って遊んだり旅行することも殆どなく今になってしまった。あなたのように毎年何回も日本に旅

行してくればよかった。そんな話を聞いて私は、彼女は自分の力を信じてがんばって成功してきたから神様に頼る必要がなかったのだと思いました。

私はできるだけ優しく彼女に付き添って話を聞き、欲しいものがあつたらそれを持って行くようにしていました。そんな状態がずっと続いて、12月になりました。彼女は体の自由がきかなくなり、一人で歩くのが難しくなってきました。それでホスピスと契約して訪問診療や訪問介護をしてもらうようになりました。そして身体中の痛みも増してきてだんだん強い薬になり、モルヒネを飲むようになってきていました。

そんなとき12月14日のことでした。彼女が、聖書を読みたい、あなたの教会に行ってみたい、牧師さんにも会って話したい、と言ったのです。私はもうびっくり、彼女の心の中で一体何が起こったのだろうと不思議に思いながら神に感謝しました。

聖書は日本語で大きな字のものがいいというので私の持っている一番大きな聖書を翌日届けました。でもその後さらに彼女の容体は悪化し、ホスピスからは毎日ナースが診に来てくれるようになりました。そして聖書を読むことも教会に行くこともかなわなくなりました。それで私は彼女に神様と聖書の話をお願いしますね、と言ってわかりやすく三位一体の神様や聖書の話をしてしました。そしてこんな話は初めて聞くとなかなかわかりにくいでしょう、と言ったら、彼女は、よくわかる、昔ミッションスクールで聞いたことがあるので思い出していた、と答えました。私はまたまたビックリです。そして彼女はもっと早くにあなたに聖書や神さまの話をして、と頼めばよかった、と。

神様は六十数年前に佐世保のミッションスクールでまかれた種を、今実を結ばせようとしておられることに感謝し、神様をほめたたえました。

12月27日にはご主人が葬儀屋さんに行って、みさよさんが亡くなったらどのような葬儀にするかを決めて契約してきました。前からみさよさんが希望していたようにどんな宗教にも関係のない葬式にすることにしたとのことでした。

12月30日のことでした。みさよさんは、「色々心の中を整理して考えてきた、そして、私もあなたのように、神様を信じて、人のためになることをしてくればよかったと思う。」と言ったのです。私はこれを聞いて、彼女はやつと神さまと出会ったのだと思いました。そして彼女に、神様は今のみさよさんの気持ちをしっかりと聞いてくれて、受け入れてくださって、喜んで天国に迎えてくださいますよ、と話したらとても嬉しそうな顔をしてくれました。

それからは年末年始でしたが、私は毎日のように伺って彼女と話し一緒に祈りました。元旦にもお邪魔しました。彼女は新しい年の正月を迎えることができたけど、もう永くはないので、家の中をもう一度全部見ておきたいとのことで、広い家の中を車いすに乗って私が押して一部屋ずつゆっくり見てまわり、その部屋ごとにある家具や写真などを見ながら彼女が思い出を話してくれました。

1月2日と4日も訪問して一緒に祈ることができました。彼女は一生懸命しっかりと両手を合わせて私の祈りを聞いていました。そしてとても喜んでくれたのです。でも4日に話したのが最期となり、5日は意識が無くなり、6日の朝、安らかに息を引き取りました。

彼女の遺体はその後火葬され、亡くなって一週間後の13日にメモリアルサービス、日本の葬式のような式が行われました。そうしたらなんとキリスト教の牧師が司式をしてすべてキリスト教式だったのです。私はびっくりしてまた嬉しくて一体何が起こったのだろう思っていました。そして式が終わってから司式をした牧師と話す機会があつたので、彼に私は無宗教の式をすると聞いていたんだけど、何がどうなったのですか、と尋ねたら、ご主人のリチャードが三日前に牧師のところへ来て、キリスト教式に換えて欲しいと言ったということでした。

主は私たちが思いもしない方法で働いてくださり、みさよさんの心を開いて、自らみさよさんに出逢ってくださったのです。私は主の愛と憐れみ、主のご計画、主が万事を益としてくださったことを心から感謝しました。以上が私の最近の信仰体験の証しです。ありがとうございました。 (おわり)

2025年度総会報告

6月14日(土)、2025年度コルネリオ会総会を対面とZoomのハイブリッドで実施し、2024年度の活動報告・会計報告と2025年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議を行いました。

2025年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は次のようになっています。異議のある方は会長(中野久永)宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

1 2025年度コルネリオ会活動計画

2025年度コルネリオ会の主題聖句：

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。」(ヘブル12:2)

2 具体的活動

(1) 例会

ア 例会は、原則として毎月第2土曜日に開催する。2025年度も日本全国及び海外からも参加可能なZoomも利用して、学びと交わりを充実する。

イ 学び会は2025年度も牧師先生方、AMCF(世界軍人キリスト者の会)会長等によるメッセージ及び各人の証し及びInductive Bible Study方式による聖書の学びを通して、会員の霊的成長と神の国の実現につながることを目的とする。これによってお互いの信仰を高め合い、現役会員の使命が達成されることを祈ると共に、参加者全員及び家族の平安と健康が保たれるように祈る。さらに部隊内及び隣人との良い関係を実現する。

ウ 祈り会(第4土曜日)を引き続き継続する。現役祈り会は第4土曜日2100-2130、退役祈り会(ダニエル会)は第4土曜日2000-2030

エ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

(2) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み、活動に賛同してくださる先生方の投稿記事等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の活動への参画意欲を醸成していく。

イ また、中央からの情報発信だけでなく、地方でのコルネリオ会活動の情報提供にも心がける。

(3) 宣教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を掲載するとともに、牧師先生のメッセージをYouTubeに載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 韓国軍人クリスチャン及び防大生との交わりを継続し、信仰を深め励まし合う。

ウ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

(4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF及びACCTS(AMCFの教育支援機関)及びMSO(韓国の宣教支援団体)との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2025年AMCF Interaction(日本主催10月17日-19日)を開催する。

東アジア(韓国・台湾・モンゴル・中央アジア)軍人クリスチャンとの親善に努める。

ウ ACCTS(アメリカ、リック・ライレス元大佐)及びMSO(韓国、イー・カップ・ジン元中将)との交流を継続する。

(5) 会計

ア 活動の運営資金が備えられるよう、ニュースレター・ホームページ等を通じて祈り求める。

イ 予算の効率的な使用に心がける。

2 2025 年度 役員人事

役 職	氏 名（細部役割等）
会 長	中野久永（全般、海外担当）
副会長	圓林栄喜（会長補佐）
総 務	加瀬典文（例会案内・書記・ 現役祈り会担当） 尾崎伸作（IT 関係担当） 佐藤有希子（奏楽担当）
企 画	関 博之（企画） 荻原洋聡（企画補佐）
渉 外	薮内隆志（日本語ホームページ） 中野久永（英語ホームページ）
広 報	圓林栄喜（NL 編集、郵便・メール発送） 佐藤有希子（同上：印刷） 海野幹郎（国内広報担当） 関 博之（国内広報担当） 甲斐悠樹（国内広報担当） 八木信如（国内広報担当） 常盤一崇（国内広報担当）
会 計	長濱貴志（会計業務全般） 森川拓弥（同上補佐）
監 査	福島信人（会計監査）
顧 問	石川信隆（例会・広報担当） 今市宗雄（ダニエル会担当）
主任教職顧問	佐藤 順牧師（単立牛込キリスト教会）
教職顧問	大頭眞一牧師 （京都信愛教会兼明野キリスト教会） 金 学根牧師（JMEA） 井草晋一牧師 （日本メノナイトブレザレン教団、 コルネリオ会関西支部担当） 徳梅陽介牧師 （日本同盟基督教団馬堀聖書教会）

3 2024 年度 決算（2024. 4. 1～2025. 3. 31）

1 収入	前年度繰越金	¥2, 372, 3157
	献金 一般	¥769, 999
	献金 AMCF ブラジル大会	¥150, 000
	献金 2025 Interaction	¥35, 000
	利息	¥353
	合計	¥3, 327, 667
2 支出	講師・謝礼費	¥40, 000
	ニュースレター作成・発送費	¥40, 786
	新聞雑誌広告費	¥0
	集会/例会会議費	¥23, 375
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥2, 700
	旅費・交通費	¥34, 860
	事務通信費（はがき・切手・ インターネット等）	¥1, 614
	雑費（振込手数料・郵送通知料金）	¥12, 289
	献金（国内・国外教会・海外へ）	¥10, 000
	メッセージ証集印刷・配布代	¥269, 205

2024AMC 世界大会参加支援	¥450, 000
特別会計 2025Interaction へ	¥150, 000
小計	¥1, 034, 829
予備費	¥2, 292, 838
合計	¥3, 327, 667
2024 年度への繰越	¥2, 292, 838

4 2025 年度 予算（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

1 収入	前年度繰り越し	¥2, 292, 838
	献金一般（クリスマス献金）	¥450, 000
	献金 2025 EA Interaction	¥200, 000
	利息	¥300
	合計	¥2, 943, 138
2 支出	講師等への謝礼・支援費	¥60, 000
	ニュースレター作成・発送費	¥50, 000
	新聞雑誌広告費	¥30, 000
	集会/例会会議費	¥30, 000
	慶弔費	¥20, 000
	接待交際費	¥30, 000
	旅費・交通費	¥20, 000
	事務通信費（はがき・切手・ インターネット等）	¥200, 000
	雑費（振込手数料・郵送通知料金）	¥10, 000
	献金（国内・国外教会・海外へ）	¥30, 000
	特別会計 2025 EA Interaction	¥200, 000
	小計	¥690, 000
	次年度への繰越（予備費）	¥2, 253, 138
	合計	¥2, 943, 138

愛とロマンの地へ（奥地宣教と日本）

その4

アルゼンチン宣教師 在原 繁

2 気高き日本人

（1）日本人として目に見えぬ財産

ミシオネス州日系人に対する他民族移民者からの信頼は絶大だと言ってよい。要因は、州内における日系人先人たちによる努力と良き証による「好意」「尊敬」「信頼」の獲得が一大要因と言えるだろう。「日本人やドイツ人と結婚すれば、成功への道が開ける…」という話を聞いてきたが、これはまんざら嘘ではない。諸外国の人々は経済的、精神的富を築き上げてきた日本人をよく知っているのだ。

六十余年にわたる日系社会が「誠実」「勤勉」「責任感」「経営能力」「経済力」、そして「人材輩出」を実証することにより、好意、信頼、尊敬という目に見えない「社会的財産」を勝ち得てきた。いわゆる、取引をするうえで求められる「力」を

裏付けとして体得して来ていたからである。

日本人（この場合は有色人種）を毛嫌いし、それを態度に現すドイツ人を時には見かけるが、彼らは日本の歴史、伝統、文化を殆ど知らないか、日本人や日系人社会との交流経験のない人々である。心に潜む白人優越意識はもちろんあるだろう。

日本民族をより理解してもらうために何をすべきか。諸外国人に対し、歴史や文化を積極的に説明することが求められるだろう。いわゆる「アピール」や「ロビー活動」というものである。

しかし、自慢話を恥とし、論理的説明を苦手とする文化習慣を日本人が有するため、宣伝戦は日本人にとって不得意となっている。この点は現在の日本政府外務省（大使館、領事館）にも垣間見られるように思う。そこで生じる情報不足が、諸外国との間に誤解や摩擦を生じさせる要因であることを知らなければならない。

同じ有色人であっても、中国人（台湾も含め）や韓国人あたりの宣伝活動は上手いと言うか、かなり「〇〇い」。

例えばかつて、パラグアイに於いて大型機械の贈呈式が行われた。贈呈国は〇〇であったか。式前日より新聞社やTV局になされた事前連絡と宣伝活動は熾烈極める「上げ底」内容で、当日の式場には友好関係をうたう大きな垂れ幕が掲げられ、翌日の新聞は一面でその模様を報じていた。だが、贈呈機械の金額は五万ドル（当時五百万円）と、国家間の援助額としてははした金であった。物事を数倍も大きく見せながらの「宣伝戦」は、彼らのお家芸なのだ。

これが日本人ならどうするか。間違いなく「たった五万ドル程度でみっともない。大ぼらラッパなど吹きなさんな！」と言うだろう。今も日本人に流れる「武士道」（正直、誠実、謙虚であれ！）がこれを恥とするからである。

日本人が誇りとするものは、歴史、伝統、文化に山ほどある。ここからしばらく「素晴らしい日本」に触れてみることにする。

（次回に続く）

月例会動画の案内

コルネリオ会月例会における牧師先生らのメッセージをコルネリオ会のホームページや YouTube ページにアップしております。見逃された方、興味のある方は是非、次の内容で検索してご覧ください。

ホームページ <https://jmcfr.xrea.jp/>

YouTube: コルネリオ会 防衛関係キリスト者の会

Interaction2025 に関するお願い

コルネリオ会は 2025 年 10 月 17 日～19 日に、牛込キリスト教会（東京都新宿区）で東アジア・中央アジア地域の軍人クリスチャン団体（Military Christian Fellowship）の集会を開催します。

今回、韓国、台湾、モンゴル、中央アジア諸国の軍人クリスチャン、軍関係者が参加予定です。

AMCF 及び国内の宣教組織や機能を理解しながら、リーダーとしての学びを実施します。

イエス・キリストにある、良き学びと交わり、そして主の栄光が現わされる集会となるべくお祈りくださいますようお願いいたします。

また、必要が満たされますようお祈りくださいますとともに、ご支援いただければ幸いです。

栄光在主

献金感謝（2025. 3. 1-2025. 6. 30）

皆様の献金を心から感謝します。（敬称略、順不同）

清水幸子、在原繁・津紀子、飯塚正美、匿名、
小島健二、海野幹郎、今市宗雄、康田洋子、
瀬在道晴・米子、内山義彦・和子、桧原菜都子、
イチキタツヤ、石井克直、長橋和彦、
ストライプジャパン、吉田靖、常盤一崇

献金振込先は次のいずれでも結構です。

- ① 郵便振替口座：00130-3-87577（コルネリオ会）
- ② 銀行振込口座：三菱UFJ銀行 和光支店
店番 505 口座番号 0385701
ジェーエムシーエフ ナガハマタカユキ
- ③ ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキョウ）店
当座 0087577 コルネリオ会